

EFモードでの撮影について

- 露出オーバーを避けるため、カメラのISO感度は"AUTO"に設定しないでください。また、マクロ撮影では低感度にセットしてください。
- 適正露出で撮影にするためには、ライトの照射光量、ISO感度、絞り値、シャッタースピードを組み合わせて調節してください。
- 照射光量は通常発光モードと同様、1%刻みで微調節が可能です。
- 水中でスムーズに撮影できるよう、あらかじめテスト撮影などで設定を確認しておくことをおすすめいたします。

EFモード撮影時のカメラの撮影モードと露出補正について

◎:推奨 / ○:可 / △:条件により可 / ×:不可

オリンパスTG-5/TG-4 (強制発光モード)

撮影モード	ライトの設定・操作		カメラの設定・操作		解説
	EFモード	光量調節	ISO感度	露出補正	
P	○	○	○	×	絞り値が大きくなる近距離撮影では、露出オーバーを防ぎやすくなります
水中マクロ	×	○	×	×	ISO感度が設定できないため、おすすめできません
顕微鏡	○	○	○	×	絞り値が大きくなる近距離撮影では、露出オーバーを防ぎやすくなります
A	○	○	○	×	絞り値を大きく設定することで、露出オーバーを防ぐことができます

コンパクトカメラ* (RX100、LX5、S100など、強制発光モード)

撮影モード	ライトの設定・操作		カメラの設定・操作		解説
	EFモード	光量調節	ISO感度	露出補正	
P	×	○	○	△**	絞り値が小さくなり、ISO感度設定で露出オーバーを防げない場合があります
A	△	○	×	△***	シャッタースピードが遅くなり、ISO感度設定で露出オーバーを防げない場合があります
S	○	○	○	×	シャッタースピードを速くすることで、露出オーバーを防ぎやすくなります
M	◎	○	○	-	絞り値を大きく、シャッタースピードを速くすることで、適正露出での撮影ができます

*Pオートのみ、ISO感度が設定できないカメラでは、EFモード撮影はおすすめできません **プログラムシフトや露出補正機能を備えたカメラは使用できることもあります ***カメラによって効果に差があります

ミラーレス/一眼レフカメラ (D810、5DMKIV、A7、EM1など)

撮影モード	ライトの設定・操作		カメラの設定・操作		解説
	EFモード	光量調節	ISO感度	露出補正	
P	×	○	○	△*	絞り値が小さくなり、ISO感度設定で露出オーバーを防げない場合があります
A	○	○	○	△*	絞り値を大きく設定することで、露出オーバーを防ぐことができます
S	△	○	○	×	ストロボ同調速度の制限により絞り値が小さくなるため、露出補正できない場合があります
M	◎	○	○	-	絞り値を大きく、シャッタースピードを速くすることで、適正露出での撮影ができます

*カメラによって効果に差があります